

医師の技術料 ～ 米国のRBRVSの場合～

中央社会保険医療協議会

委員・嘉山 孝正

(山形大学医学部長)

Yamagata University
T. Kayama



医療費と技術料 日本と米国の違い

経常的費用 operating cost

- 医師の人件費 (= 技術料)
- 医師以外の人件費
- 材料費
- 経費、教育費、研究費

資本的費用 capital cost

- 土地、建て替え費
- 減価償却費、賃貸料、利息
- 保険料、租税



●
病院の経常的費用に含まれる

(欧州では勤務医は一種の固定財)



米国の多様な健康保険制度

三つのM (MANAGED CARE, MEDICARE, MEDICAID)

民間保険 (70%)

- ・ マネージドケア (管理医療、58%)
- ・ 出来高払い保険 (12%)

公的保険 (25%)

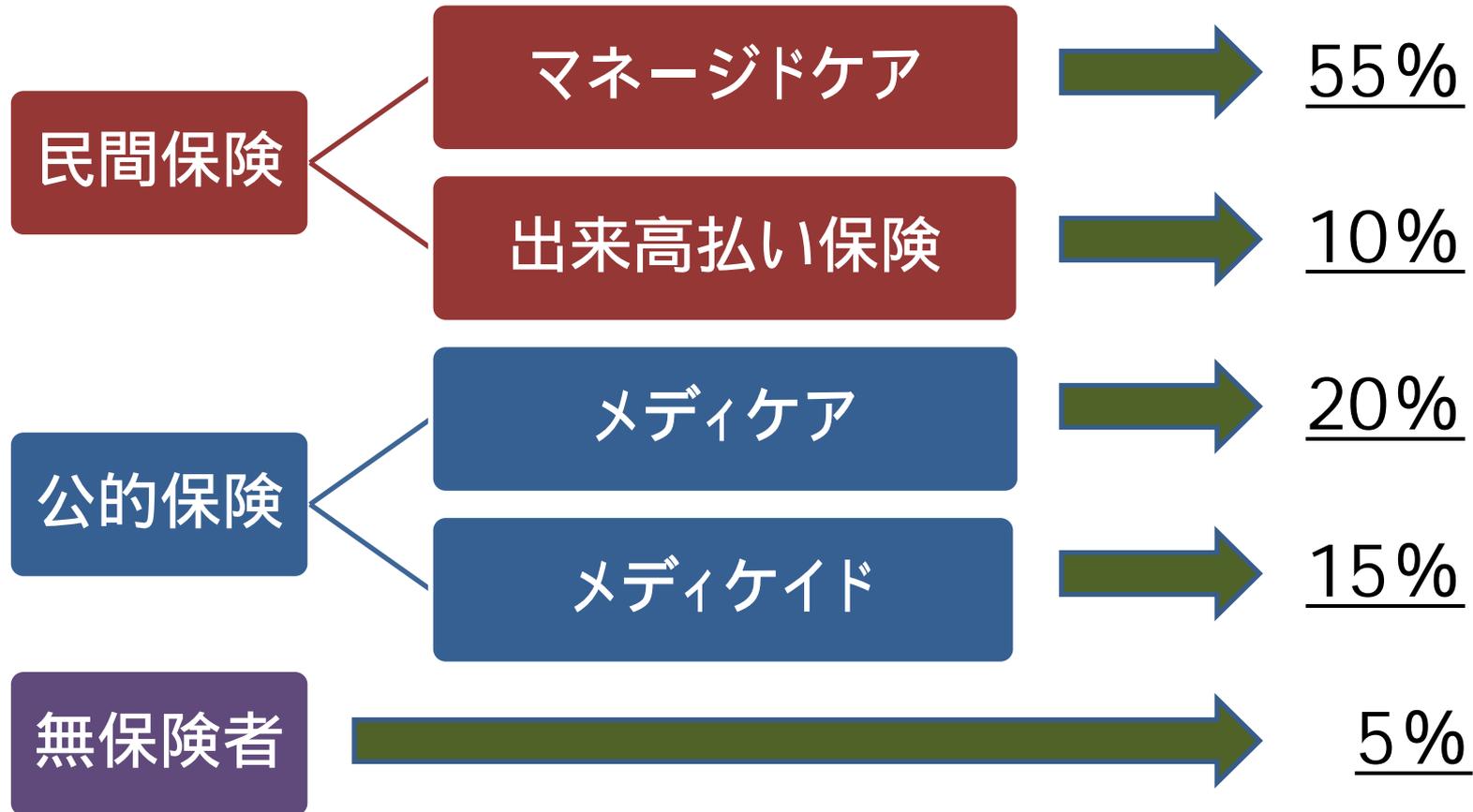
- ・ メディケア (高齢者保険、13%)
- ・ メディケイド (低所得者保険、12%)
- ・ 現役・退役軍人保険 (0.1%)

無保険 (16%)

- ・ 約4,700万人
(米国民7人に1人)

%は対人口比

ドクターフィー（医師収入）の保険別内訳



民間保険の支払いもメディケアに準じている。



米国のドクターフィー評価システム

RBRVS (RESOURCE-BASED RELATIVE VALUE SYSTEM)

- Ⓞ 医師の技術料の系統的定量化を行うシステム
(1992年からメディケアPart Bの支払いに導入)

Part Aがホスピタルフィー、Part Bがドクターフィー。

- Ⓞ 手技・処置ごとに3つの相対値 (RVU) を設定

Work RVU

(狭義の医師技術料) : RVU全体の約52%

Practice expense RVU

(医師以外の人件費、材料費、間接費用) : RVU全体の約44%

Professional Liability Insurance RVU

(医事訴訟保険額) : RVU全体の約4%

- Ⓞ **支払額 = $\Sigma (RVU_i \times \text{地域補正係数}_i) \times \text{転換係数}$**

なぜRBRVSが導入されたのか

従来のMedicare Part Bは、各医師が慣習的に
妥当と思われる額 (CPR charge) を請求
(地域や診療科、医師によるばらつきが大きかった)



ばらつきに対する不満が政府側・医師側から上がった
(同じ外科手術でも2～3倍の差！)



行為ごとの出来高払いを堅持し、資源投入量を反映
させた支払額を決定する方式を医師会側が提示し(1985年)、
政府側もこれを採択

WORK RVU (狭義の医師技術料) の構成 (ハーバード大学公衆衛生学教室の研究)

1. 技術提供にかかる時間

2. 技能や身体的な労力

3. 判断に伴う精神的労力

4. 医療事故に対する心理的ストレス

WORK RVUの具体的な算定方法

- ⊕ 基準となる診療内容を1.0とした場合に、その診療内容が総合的にみて何倍負担になるかを医師パネルに尋ね、その回答結果を平均して相対的な負担度を算出
- ⊕ 異なる専門領域間の調整: 10名程度の医師からなる医師パネルが協議によって、異なる領域間で仕事量がほぼ同じである医療行為を同定し、共通尺度化

例: 子宮摘出術は精神療法(45分間)の4.99倍の仕事量

1. 技術提供にかかる時間: 2倍
2. 技能や身体的な労力: 4.47倍
3. 判断に伴う精神的労力: 3.8倍
4. 医療事故に対する心理的ストレス: 4.24倍

当初の段階では、約2,000名の医師に個別に電話インタビューを実施。

Yamagata University

T. Kayama



RBRVSによるドクターフィーの例(2009年)

術式	Work 技術料	PE 諸費用	PLI 保険料	Total RVUs	支払額
腰椎椎間板手術 CPT 63030 (整形外科)	13.03	8.69	3.01	24.73	\$891.93
脳動脈瘤手術 CPT 61698 (脳神経外科)	69.45	31.19	12.54	113.18	\$4,082.02
冠動脈ステント留置術 CPT 92980 (1本) (循環器科)	14.82	7.66	1.03	23.51	\$847.93
CABG(1本) CPT 33510 (心臓血管外科)	34.87	14.49	4.41	53.77	\$1,939.30

地域補正係数は省略、転換係数は\$36.0666

[出所] AMA, Medicare RBRVS 2009: The Physicians' Guide, 2009



米国の専門医の平均年収と平均就業時間

専門領域	総収入(円)	週就業時間(時間)
脳神経外科医	5,356万6,340	60
心臓内科医	5,248万0,290	68
整形外科医	5,123万3,740	66
心臓外科医	4,426万6,970	74
一般外科医	3,753万2,390	72
一般内科医	1,926万0,000	60
小児科医	1,797万0,650	68
家庭医	1,712万0,000	68
全国医師平均	3,210万0,000	60

参考(日本)	総収入(円)	週就業時間(時間)
大学勤務医(全職位平均)	701万1,337	74
公立病院勤務医	1,496万4,504	66

[出所] AMA news 2000、\$1 = 107円、大学勤務医は、山形大学・タイムスタディ調査(2009年1月24日～30日、n=156)による。公立病院の総収入は、17回医療経済実態調査。週就業時間は、「医師需給に係る医師の勤務状況調査」による常勤病院勤務医の平均値。

